

### 1 2019年度第2回市町村実務担当者会議の開催状況

(1) 開催日時

令和2年1月21日(火) 午後2時30分から午後4時まで

(2) 県からの報告事項

①2018年度の障害者虐待に係る対応状況等について

②2019年度上半期の障害者虐待に係る対応状況等について

③事前質疑について(別添)

④2019年度第1回障害者虐待防止・差別解消推進協議会における構成員意見の伝達

⑤障害者差別解消法に基づく対応要領の策定状況等について

⑥障害者差別に関する相談事例について

(3) 差別解消に関するワークショップ

### 2 愛知県における障害者虐待防止研修の開催状況について

○虐待防止研修(相談窓口職員向け)

日程	研修科目	定員
令和元(2019)年 10月7日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者虐待対応における市町村職員・相談窓口職員の使命(講義)</li> <li>・障害者虐待対応スキームの概要及び障害者虐待対応における相談窓口職員の初動対応における役割(講義・演習)</li> <li>・障害者虐待対応における相談窓口職員の初動対応における役割(演習)</li> </ul>	150名

⇒アンケート結果 P.2

○虐待防止・権利擁護研修(事業所職員向け)

日程	研修科目	定員
令和元(2019)年 12月16日(月) 12月26日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の目的と障害者虐待防止法の概要(講義)</li> <li>・虐待防止のためにあなたができること(演習)</li> <li>・自身の支援の振り返り～新城福祉会の実践～(演習)</li> <li>・アンガーマネジメントを活かす(演習)</li> <li>・障害者の権利擁護と成年後見制度の概要について(講義)</li> </ul>	計362名

⇒アンケート結果 P.3～4

○成年後見制度研修

日程	研修科目(予定)	定員
令和元(2019)年 12月20日(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成年後見制度の基礎理解</li> <li>・意思決定支援の基礎理解</li> <li>・演習</li> </ul>	90名

⇒アンケート結果 P.5

# 障害者虐待防止に係る本県の取り組み

## ○虐待防止研修（相談窓口職員向け）のアンケート結果

アンケート回答状況	
出席者数	92人
回答者数	90人

（出席者に対するアンケート回収率 97.8%）

### ○問1 各講義等の感想

	よかった	どちらかといえばよかった	どちらでもない	どちらかといえばよくなかった	よくなかった
障害者虐待における市町村職員・相談窓口職員の使命	62 (69.7%)	22 (24.7%)	5 (5.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
障害者虐待対応スキームの概要	62 (69.7%)	25 (28.1%)	2 (2.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
障害者虐待における相談窓口の初動対応における演習	62 (70.5%)	22 (25.0%)	4 (4.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

### ○問2 理解度

	理解できた	どちらかといえば理解できた	どちらでもない	どちらかといえば理解できなかった	理解できなかった
障害者虐待における市町村職員・相談窓口職員の使命	43 (48.3%)	40 (44.9%)	6 (6.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
障害者虐待対応スキームの概要	41 (46.1%)	43 (48.3%)	5 (5.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
障害者虐待における相談窓口の初動対応における演習	36 (40.9%)	44 (50.0%)	6 (6.8%)	2 (2.3%)	0 (0.0%)

### ○問3 今後実施が必要な研修

	重複あり
1 地域移行・地域定着	24 (13.6%)
2 差別解消	26 (14.7%)
3 虐待防止	35 (19.8%)
4 モニタリング	14 (7.9%)
5 協議会	17 (9.6%)
6 ケアマネジメント	6 (3.4%)
7 人材養成	19 (10.7%)
8 基幹相談支援センター	15 (8.5%)
9 障害児相談	19 (10.7%)
10 その他	2 (1.1%)

### ○問4 職種、経験等

	行政職員	相談支援	不明
職種	48	40	2

	1年未満	1～5年	6～10年	11～15年	16年以上	不明
経験年数	22	42	9	7	7	3

	初任あり	初任なし	現任あり	現任なし
相談支援従事者研修受講の有無	38	47	16	50

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明
年代	8	28	28	22	2	0	2

	男	女	不明
性別	32	56	2

### ○感想・意見等（一部抜粋）

- ・ 実例を踏まえた話や演習は、記憶に残りやすくて良いです。今日の研修を私個人だけでなく、担当課で共有して虐待の防止に努めていきたいと思えます。
- ・ 各市の社会資源も違う中で、虐待対応も違うと思えます。事例で学び自分は何ができるのか改めて考えさせられました。
- ・ 講義、演習を通して、初動対応の動きがとてもわかりやすく、実践にいかせる内容でした。今後の参考にさせていただきます。
- ・ 各講義、演習の内容が分かりやすく、改めて虐待防止・権利擁護の必要性・重要性を感じました。
- ・ 初動対応についても、実際、始めの相談のみしかふれたことがなく、どういう風に事が進むのかわからなかった。理解することができましたが、判断の難しい話ですね。
- ・ グループワークを通して、意見の共有を行えた。理解が深まった。実際にあった事例であるため、興味深く参加できた。
- ・ 市の責務を直接きけたことは参考になった。

# 障害者虐待防止に係る本県の取り組み

## (名古屋会場)

	とても参考になった	参考になった	どちらともいえない	あまり参考にならなかった	参考にならなかった
研修の目的と虐待防止法の概要	64 (49.6%)	62 (48.1%)	3 (2.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
虐待防止のためにあなたができること	51 (39.5%)	72 (55.8%)	6 (4.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
自身の支援の振り返り	56 (44.4%)	60 (47.6%)	10 (7.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
アンガーマネジメントを活かす	89 (69.5%)	35 (27.3%)	2 (1.6%)	2 (1.6%)	0 (0.0%)
権利擁護と成年後見制度の概要	43 (34.4%)	67 (53.6%)	15 (12.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

## 現在の職種

設置者	3人 (2.4%)
管理者	52人 (40.9%)
従事者	65人 (51.2%)
その他(サビ管等)	7人 (5.5%)

## 左記職種の職務経験年数

1年未満	30人 (23.8%)
1～5年	48人 (38.1%)
6～10年	32人 (25.4%)
11年以上	16人 (12.7%)

## アンケート回答状況

出席者	138人
回答者	130人

※アンケート回収率 94%

## (岡崎会場)

	とても参考になった	参考になった	どちらともいえない	あまり参考にならなかった	参考にならなかった
研修の目的と虐待防止法の概要	46 (63.0%)	25 (34.2%)	2 (2.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
虐待防止のためにあなたができること	37 (50.7%)	33 (45.2%)	3 (4.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
自身の支援の振り返り	37 (52.1%)	32 (45.1%)	2 (2.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
アンガーマネジメントを活かす	55 (75.3%)	18 (24.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
権利擁護と成年後見制度の概要	29 (44.6%)	31 (47.7%)	5 (7.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

## 現在の職種

設置者	2人 (2.8%)
管理者	35人 (48.6%)
従事者	31人 (43.1%)
その他(サビ管等)	4人 (5.6%)

## 左記職種の職務経験年数

1年未満	19人 (27.1%)
1～5年	28人 (40.0%)
6～10年	19人 (27.1%)
11年以上	4人 (5.7%)

## アンケート回答状況

出席者	75人
回答者	74人

※アンケート回収率 99%

## (全体)

	とても参考になった	参考になった	どちらともいえない	あまり参考にならなかった	参考にならなかった
研修の目的と虐待防止法の概要	110 (54.5%)	87 (43.1%)	5 (2.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
虐待防止のためにあなたができること	88 (43.6%)	105 (52.0%)	9 (4.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
自身の支援の振り返り	93 (47.2%)	92 (46.7%)	12 (6.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
アンガーマネジメントを活かす	144 (71.6%)	53 (26.4%)	2 (1.0%)	2 (1.0%)	0 (0.0%)
権利擁護と成年後見制度の概要	72 (37.9%)	98 (51.6%)	20 (10.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

## 現在の職種

設置者	5人 (2.5%)
管理者	87人 (43.7%)
従事者	96人 (48.2%)
その他(サビ管等)	11人 (5.5%)

## 左記職種の職務経験年数

1年未満	49人 (25.0%)
1～5年	76人 (38.8%)
6～10年	51人 (26.0%)
11年以上	20人 (10.2%)

## アンケート回答状況

出席者	213人
回答者	204人

※アンケート回収率 96%

### ○感想・意見等（一部抜粋）

#### ①研修の目的と虐待防止法の概要

- ・通報と聞くと、実際に虐待の確実な情報がないとできないと思っていた。通報は関わる全ての人の救いになると聞き、もし虐待かもと感じた際には報告しようと思った。
- ・通報義務のことは既に知ってはいたが、その意識がとても低かった。今回の研修で、大切さに気づいたので、職場で共有したい。
- ・聴くこと、見るのが大切なのだと実感した。
- ・基礎的な知識の確認ができた。また、虐待についての境目・線引きの難しさを感じました。自分の行動を考えていかないとと思った。
- ・虐待防止法の概要について、よく分かった。
- ・自分の今の支援の仕方を言い訳なく「これでいいのか。」と考えさせられました。

#### ②虐待防止のためにあなたができること

- ・チェックリストを作ることで支援の見直しをして、未然に防止するなど、利用者の身になり考えたり、第三者からのチェックも必要だと考えさせられました。
- ・普段当たり前になっている利用者様への声かけも、虐待と捉えられることがあるのだと知り、はたとさせられた。
- ・グループワークを行うことで、他施設のことを知ることができ、支援を広げることに役立つと思った。
- ・改めて、自身の法人の組織・仕組みを考えることができた。
- ・「これからできること」を考えるきっかけになった。
- ・「他人事」としてではなく、「自分事」として捉えて、支援に繋げていきたいと思う。
- ・自分自身に不足している点分かった。職員の支援力アップにつなげる。

#### ③自身の支援の振り返り

- ・KJ法がとても参考になった。自分自身のだめな点を話すことで、気持ちを周りの人に理解してもらえるようになる。
- ・KJ法を元にしたグループワークは、職場でも行うと良いと思った。まずは、自分達の支援の在り方に気づく事が大切だと思った。
- ・日々の振り返りや職員とのやり取りを言語化、見える化することで、虐待の芽を大きくしないようにしていくことが大切だと感じました。
- ・普段、何気なくしている行動も虐待になることに気づきました。今後、気をつけていかなければ。
- ・虐待に繋がる芽に気づくことの大切さを感じた。
- ・虐待かどうか分からない小さな事案でも、もしかしたらと立ち止まって考えることが大切だと思った。

#### ④アンガーマネジメントを活かす

- ・自分がどの場面で怒りを感じるのかわかった。怒りの線引きを実行してみようと思った。
- ・正しい距離感が怒りのコントロールに繋がる。
- ・自分の事業所用の自己点検チェック表を作りたいと思う。
- ・自分たちで「これはアウト」「なくすべき態度」を考え判断することが大切。
- ・怒りを理解していない自分を理解できた。
- ・使う言葉によっても、相手に与える印象が違うが、まず冷静になり、伝える必要があるかどうかの判断をすることが大切だと分かった。
- ・怒りの発生理由などを知ることで、今後、冷静に対処するための方法を知ることができた。
- ・自分と他人では考え方が違うということを冷静に考えて、自分が慌ててしまわないようにしたい。
- ・怒る、怒らないの線引きをできるだけ明確に決め、自分の感情と上手に付き合っていきたいと思った。
- ・自分の感情にスケールをつけていくことで、少しずつ冷静になっていくのだと分かりました。

#### ⑤権利擁護と成年後見制度の概要

- ・成年後見制度を違う目的で使用していないかとの危惧、利用者本人のためではないのでは？と勉強になりました。
- ・一見、後見人をつければ楽だと感じていたので、とても勉強になった。
- ・成年後見制度の利用が必要と考えられている対象者が多くいる中、実際、利用されている人たちが少ないのも現実と知りました。
- ・成年後見制度の持つ意味と存在の重要さが分かった。使い方には注意が必要なので、しっかり知識をつけておきたい。
- ・意思能力がないため、後見人がつくことで自由が広がるとイメージしていたが、どれだけ能力があるか視点を置き、後見人は一生つくものと改めて重大さを知った。
- ・支援者として、利用者様の最善の利益を考えていきます。
- ・意思能力と行為能力について、きちんと考えなければならないと思った。

# 障害者虐待防止に係る本県の取り組み

## ○成年後見制度研修のアンケート結果

アンケート回答状況	
出席者数	66人
回収数	63人

(出席者に対するアンケート回収率 95.5%)

### ○問1 各講義等の感想

	とても参考になった	参考になった	どちらとも言えない	あまり参考にならなかった	参考にならなかった
成年後見	32 (50.8%)	31 (49.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
意思決定	36 (57.1%)	27 (42.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
演習	36 (57.1%)	24 (38.1%)	3 (4.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

### ○問2 職種・経験等

- 1 市町村担当職員 1 1年未満
- 2 障害者虐待防止センター 2 1～3年
- 3 基幹相談支援センター 3 3～5年
- 4 相談支援専門員 4 5～10年
- 5 社会福祉協議会 5 10年以上
- 6 成年後見センター 6 不明
- 7 その他

	1	2	3	4	5	6	7
職種	34 (63.0%)	3 (5.6%)	15 (27.8%)	2 (3.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
経験	17 (25.8%)	20 (30.3%)	11 (16.7%)	11 (16.7%)	6 (9.1%)	1 (1.5%)	

## ○感想・意見等 (一部抜粋)

- ・「後見がついたから安心」という概念を捨てようと思う。
- ・制度の基本的なところについて、再認識することができた。その後の研修の参考になり、よかった。
- ・実際の現場の声を聴くことができ参考になりました。
- ・長く支援に関わっているが、成年後見の話も時間が経つと我流になってしまうため、継続して、話を聴くことが大切だと感じた。
- ・初心を忘れず、本人の気持ちと共に支援できるような相談支援を目指したい。
- ・聴くことが一番の権利擁護という言葉が心に残った。窓口業務の参考となる話が聞けて良かった。
- ・詳しく法律の内容を見ながら、分かりやすく例えていただいたので、スッと自分の中に入ってきました。今後、支援する際に気をつけていきたいですし、今日の内容を他職員へも伝えていきたいと思いません。
- ・例えが分かりやすかった。自分の対応は権利を侵害していると痛感した。とにかく聴くことが大切なのが理解できた。
- ・意思決定支援の背景からの話や例えを使って話をしていただき、理解しやすかった。
- ・日頃から「本人主体で」と意識しているつもりでも、改めて話を聞くと、誘導になっているのではないかと思直した。
- ・無意識の中で都合のよいように動かそうとしていたことに気づきました。
- ・意識していないと覚えられないことを知り(気づき)、まずはそのことから始めようと思います。
- ・障害の支援はそれぞれの専門的視点で見方が変わることが面白く、自分にはない視点からの意見が参考になりました。
- ・検討する上で、とても勉強になる事例だった。色々な意見が出て、今後の支援の組み立て方を学ぶことができた。